

委員会での主な審議内容

山王谷川に架かる橋の復旧状況は

〈笠野副委員長〉

山王谷川流域の農地復旧工事地域内に、以前は沈み橋になっていた所に橋を架ける予定があるのか。また道路は農道なのか村道か。

〈建設課主幹〉

付け替える。村道柏木・今市線の橋、県が護岸整備を行うので、その高さに合わせた橋を村で施工する。現在、工事は既に発注済みであり、着手はしていないが契約は済んでいる。

野焼きの再開に向けて、火入れ作業道の復旧は

〈後藤委員〉

火入れ作業道の復旧工事が予算化されている。国の事業に該当せず、村単独事業で実施するところがまだあるのでは。野焼きの再開にどう対応するのか。

〈農政課長〉

各牧野組合長に火入れ作業道の未復旧場所の調査を依頼する。

農地災害復旧、立野地区用水路の復旧状況は

〈笠野副委員長〉

立野地区、新所地区農業用水路の復旧進捗率は。

〈農政課主幹〉

県工事ほか2件の工事が残っている。今のところ支線の通水テストができない、水が流せない状況。

〈笠野副委員長〉

今年から作付け可能か。地元地区への説明は。

〈農政課長〉

一部が再開できて、一部が再開できないというのは不公平であり、判断がなかなかできない状況。作付けは厳しいのではないかと方向である。



補修後、通水が待たれる立野水路

火山灰対策事業は使えないのか

〈笠野副委員長〉

そば乾燥施設の雑種子と火山灰等を除去する粗選機の追加工事で火山灰降灰対策の事業は使えないのか。

〈農政課長〉

国補助は被覆資材の方針であり、他の補助はない。降灰状況の写真を提示し要望していく。

農地集約協力金の状況は

〈後藤委員〉

農地集積協力金、昨年の実績は。

〈農政課長〉

昨年の実績は田で17ha・畑で1ha、本年度は予算が足りなかったため、補正を組んで対応した。

ワイン用ぶどう栽培、その後は

〈今村委員〉

昨年より作付けが実施されたワイン用ぶどう栽培、長期のプロジェクト事業であるが順調な経緯で進んでいるのか。

〈農政課長〉

元年度にぶどう棚の設置まで終わっている。剪定作業を含め順調に進んでいる。今年1月の強風で被覆ビニールが破れたので、材料費・修繕費を計上している。



剪定を終えた2年目のぶどう

その他の質問

〈今村委員〉

- ・両併西部地区基盤整備負担金（村立替）とは

委員長報告

（委員長以外の委員による）表決の結果、全員賛成で、当委員会に付託された予算案等は、原案通り可決すべきと決定した。